



かわらばん

良城小 URL: <http://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/ryojo-e/>

良城小学校
学校だより4月号
児童数804名
平成31年4月9日

みんなで創る「もっともっと楽しくてたまらない良城小学校」

校長 増野 淳一

新しい年号「令和」が決まりました。令和は、早春の梅花の宴を記した万葉集からの出典です。私も生命の躍動する早春が一番好きです。木の芽吹き、風の薫り。冷たさの中にも暖かい季節の到来を予感できる日々

に心躍ります。本校でも、令和元年にふさわしく、これまでのよき実践をさらにステップアップして、新しい基礎を創っていきたくと考えています。

これらの課題に対応するための「本年度の重点的取組」です。

1 新しい教育目標の達成に向け学校・家庭・地域が一体となった組織的な取組の推進

徳知体それぞれの取組の方向性を示した学校教育目標の実現に向け、昨年度、学校運営協議会に徳知体の3部会を設置しました。これを活用し、学校、家庭、地域それぞれの場で、創意工夫された具体的な実践を行っていきます。

2 徳知体プロジェクトを中心とした「ダイナミックチャレンジ」によるステップアップ

そのためにも、まずは、私たち学校で徳知体の目標達成に向けた取組を加速させる必要があります。校内の徳知体各プロジェクト委員会で熟議し、ダイナミックで新しい取組(次の手)にチャレンジして良城教育全体をステップアップしていきます。

3 地域連携活動(コミュニティ・スクールの取組)の充実による「地域の方へあたたかい挨拶」ができる児童の育成

吉敷地区地域づくり協議会では、本年度「子どもの見守り総決起大会」の開催が予定されるなど、地域の学校支援の機運、地域づくりへの期待感はかなり高まっています。連携した取組をさらに重ね、結果として、児童一人一人の「ふるさと吉敷を愛する気持ち」を高めていきたいと考えます。本校児童の朝の挨拶はよいとの評価もありますが、まだまだ表面的であり、校内でも地域の来校者への挨拶は低調です。校内だけでなく校外でも、自ら積極的にあたたかい挨拶ができる児童の育成を目指します。

4 同学年組織を中心とした1000日プランの実践による人材育成の推進

若い先生が増えています。エネルギー、新しい発想にあふれる若手は学校を元気にしてくれます。「自主・協同・貢献」という本校教育理念を自身がしっかりと表現できる教員としての指導力を身につけられるように、学年主任を中心とした同学年で、若手の「人材育成」を強く意識して、日々の協同実践を重ねます。

5 図書館を活用した学習の実践による授業改善・学力向上の推進

11月7日に図書館教育中国大会を本校で開催し、授業提供を行います。図書館を活用した授業は、児童の本当の意味での学力向上につながるとても大切な取組だと捉えています。大会当日だけの成功を目指すのではなく、日々の授業改善に全職員で取り組んでいきます。

令和元年の本校は、学校、家庭、地域みんなで「ダイナミックチャレンジによるステップアップ」を進め、「もっともっと楽しくてたまらない良城小学校」を目指します。家庭、地域の皆様のさらなるご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。